

第4学年 社会科学学習指導案

2011 2校時

4. 2. 2

1. 単元名 郷土に伝わる願い

2. 指導計画

段 階	学 習 活 動	学 習 内 容	時数・資料
つ か む	- 学校付近の用水路（くぐり穴用水路のつづき）を見学する。 - 用水路（福岡大堰くぐり穴用水路）について家の人に聞く。 - 福岡大堰くぐり穴用水路探検の計画をする。	- 七北田川との高低差を見る。 - 田んぼに水を引く用水路であることを知る。 - 福岡地区にある、用水路、堰、ため池等があることを知る。 - 地図でおおよその位置をおさえる。 - 地形図に色塗りをして、福岡地区の標高差をおさえる。 - 自分が調べたいこと、見てきたいことをはっきりさせる。	① ②③ 白地図資料
調 べ る ・ 深 め る	- 福岡大堰くぐり穴用水路の見学をする。 - 見学したことをもとにして、各自の学習課題を作る。（本時） - 個人あるいは、グループ毎に学習計画を立てる。 - 学習課題についてグループ毎に調べる。 - 調べたことをもとにしてまとめる。 - まとめたものを発表し、話し合う。	- 水神碑→堰添えの水門→サイフォン→吐き出し口→石川さん宅下の狭間→堰元の水門→取水口→大堰と見学する。 - 見学して分かったことや感想を発表する。 - 分からなかったことや調べたいことを整理し、課題を作る。 - どのように調べるか、どのように発表するか話し合う。 - 各自の方法で調べる。 ○地域の人に聞く。 ○本で調べる ○もう一度見学に行く。 - 福岡大堰くぐり穴用水路について詳しく知る。	④⑤⑥ 地図資料 ⑦（本時）立体模型 ⑧ ⑨⑩⑪⑫⑬ ⑭
ま と め る	現在の福岡大堰くぐり穴用水路について知る。	- 現在どのように維持管理されているのかを知る。 - 地域の一員として自分たちができることを考える。	⑮

3. 本時の指導

(1) ねらい

福岡大堰くぐり穴用水路を探検して分かったことや疑問に思ったことを発表し、話し合うことで自分が取り組む課題をつくることができる。

(2) 学習過程

学 習 過 程	指 導 上 の 留 意 点
1. 立体模型でくぐり穴用水路の全体を確かめる。	・ 立体模型と探検マップを照らし合わせてみることで、探検を想起させる。 ・ くぐり穴用水路の見えない部分や狭間、サイフォンのある場所を確かめ、用水路全体をつかめるようにする。
2. 見学してきたの感想や、疑問を発表する。	・ 一人一つずつぐらいにして、この次の課題の各自の参考にする。
3. 学習課題を作る。 ①カードに疑問や調べてみたいことを書く。 ②黒板に貼って、グループ分けをする。	・ どんな疑問点でも、調べてみたいことでも良いので、カードにどんどん書かせていく。 ・ 黒板でのカードの整理は、子どもの意見を聞きながら教師が行う。
4. 各自が学習課題を選ぶ。	・ 課題を選ぶ際の留意点を参考にさせ、本当に調べたいもの、調べるのが可能なものを選んでいくようにさせる。 ・ 同じ課題を選んだ子どもについては、グループで調べた方がよいことを知らせる。
5. 次時の学習予告を聞く。	・ 個人あるいは、グループごとに調べ方や発表の方法の計画を立てて調べることを知らせ、意欲を持たせる。

(3) 評価

①関心・意欲・態度

・ 課題づくりに進んで取り組んでいたか。

②思考・判断

・ 福岡大堰くぐり穴用水路を知るために、どんなことを調べればよいか考えることができたか。

③技能・表現

・ たくさんの疑問の中から、自分が調べたいことを選ぶことができたか。

④知識・理解

・ 福岡大堰くぐり穴用水路の概要をつかむことができたか。